



活力あふれ、人が輝く「住んでよし、誇れる泉崎村」

輝かしい新春を迎え、謹んで新春のお慶び申し上げます。

昨年は10月7日に発生したパレスチナ自治区ガザの武力勢力とイスラエル軍との間での戦闘が始まり、双方の応酬は、ガザ地区において、人命を深刻な危機的状況にさらすとともに、市街地に甚大な被害をもたらしております。また、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻もいまだ混迷が続き、出口の見えない状態が続いております。一日も早く、双方の国民に安息の日が訪れるよう、国際社会が協調して取り組み、世界に恒久的な平和がもたらされることを心から願うところであります。

さて、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に位置づけられ、行事やイベントなど各地で賑わう様子が見られ、子どもや若者の元気な姿を見るにつけ、社会や経済及び地方の活気も上向いて欲しいと、強く願いを抱いております。

昨年のもろい話題として、「いずみぎき桜ウォーク」

が、4年ぶりに開催されました。桜の花びらが舞う中、652人の参加をいただき、気仙沼大島より提供のイワシ・カツオのハラス、地元野菜の豚汁などが振る舞われ、会場に笑顔が溢れた次第です。

南相馬市の強豪チームに見事に勝利し、はじめて3回戦に進出しました。

晩秋の福島路にドラマを生む「市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会」は、今般で35回目を迎え、村の部準優勝、総合で20位となりました。



箭内憲勝 村長
Norikatsu Yannai

また、敬老会についても、敬老者を招待しての通常開催が叶い、米寿、金婚・しあわせ金婚の皆さまにお祝いができました。

第10回市町村対抗ソフトボール大会においては、泉崎村チームが、西会津町・

した。「最善を尽くす精神」は若い世代に継承され、輝く選手の姿は村民に勇気と感動を与えました。こうした頑張り、これからの村づくりの原動力になるものと確信しているところがあります。今後も、多様な

スポーツが活躍し、地域の一体感や活力を醸成する文化的な活動として、さらに発展・進化することを、願うところであります。

本年は、村づくりの最上位計画となる「第6次総合振興計画」の策定の段階となり、村づくり委員会がまとめた素案を審議会へと諮問したところです。村の将来を見据えた様々な議論・審議が進められており、公約に掲げました村の玄関口にふさわしい駅周辺整備や児童・生徒の食の安全と安心を確保するための給食センター建替及び企業版ふるさと納税など新たな取り組みが示されております。

また、人口減少・少子高齢化対策を最重要課題との観点から経済支援対策、雇用対策、住宅対策、教育対策に加え、医療福祉対策などについて、積極的に取り組んでまいります。

さて、今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」です。十二支の中で唯一の空想上の動物です。辰は「振るう」という文字に由来しており、自然万物が振動し、

草木がどんどん成長して活力が旺盛になる状態を意味しております。辰年は、昨年まで努力してきたことが実を結んで成就する年になる。また、辰年にさらなる努力をすることで、成功にスピード感を持って近づける年と言われております。

人生100年時代が到来し、すべての住民(ひと)が世代を超えて支え合う社会の構築が必要となる中、将来の姿を見据え、持続可能な村(ふるさと)として、『新たな価値を生む仕組み創り』を草木の成長のごとく進めたいと思っております。

活力あふれ、人が輝く「住んでよし、誇れる泉崎村」が達成できるよう、住民と行政が一枚岩となり、村づくりを目指してまいります。

村民の皆さまの益々のご繁栄とご健勝を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

新年を迎えて

新年あけましておめでとうございます。

令和6年の年頭にあたり、村民の皆さま方に議会を代表して輝かしい新春を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から当議会に対し、ご理解と暖かいご支援を賜り深く感謝申し上げます。

私ごとではありますが、昨年の村議会議員選挙後、10月より新たに議長を拝命となりました。2回目の議長職となりませんが、これまでの経験を活かし、泉崎村の発展及び議会の適切な運営のため、力を注ぐ所存であります。

令和5年を振り返りますと新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月に季節性インフルエンザと同等の5類に引き下げられたことにより、マスク着用は自己判断とする等、これまでの「新しい生活様式」が緩和されたと皆さまも感じていると思います。しかしながら、ウイルスはいまだ変異を続け存在し、感染する方もまだまだいるのが現状で

す。季節性インフルエンザの感染が増大した昨年のことを思えば「うがい」「手洗い」等、これまでの「新しい生活様式」を維持しながら感染予防を念頭において生活することが肝要であ

い立場の人々を中心に多くの人命が失われている現状は目に余るものであり、私を含め皆さまも心を痛めているところであると思えます。近年相次ぐ災害も同様に



岡部英夫 議会議長

Hideo Okabe

ると感じています。

世界に目を移しますと、ロシアとウクライナの戦争がいまだに続いていること、そして、新たにイスラエルとガザ地区との戦闘により高齢者や子どもなど弱

態化した時代になったといえます。村民の尊い命を守るためには、大地震や台風、大雨等による災害に備え、年間を通じた防災を真剣に考えなければならぬと感じているところです。

行政に目を転じますと、新型コロナウイルス感染症対策では、コロナワクチンの無料接種が令和5年度で終了する予定といわれており、令和6年度以降は一部年齢層に対する助成を除き、接種希望者は全額自己負担とする議論を国が行っているという聞いています。

経済においては、いまだに続く原油や穀物の高騰に加え、生活関連すべてが高騰となっていることから、政府は令和6年度に一人ひとりの所得税の3万円減税と住民税の1万円減税を行うと公表しています。泉崎村では、これまで住民税非課税世帯や子育て世帯への給付金等、一定の対策を行っていますが、これに留まることなく、村民の生活を支えるための新たな支援策に期待するところであり

ます。

ところで、今年は辰年です。辰年は、成長の年や出世に関わる年とされています。農業では気候も穏やかな年となり豊作で、仕事では順調で収入が増える。皆さまにとってその様な年になって欲しいと念じています。

今の世の中は、あらゆる面ですます混迷が続く時代ではありますが、泉崎村議会では皆さまが求めていること、感じていることを聴いて、行政が実現できるような働きかける取り組みを果たすこと、行政を監視する機関としての役割を果たすことで、村民の皆さま一人ひとりの幸福につながるよう取り組んでいきたいと考えています。

今年1年、皆さまにおかれましては、安寧な年でありませう心からご祈念申し上げます。新年のあいさつに代えさせていただきます。

豊かな教育の実現のために

あけましておめでとうございませう。村民の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和5年は、長く続いた新型コロナウイルスの感染状況が危惧しながらの生活から脱し、多くの活動が戻ってきています。本村教育活動の実施にあたっては、内容とねらいを踏まえ、実施方法や内容を検討した上で実施してきました。これまでの子どもたちの頑張りと共に保護者の皆さまのご理解とご協力、また現場で奮闘する教職員の皆さまのおかげであり、感謝を申し上げます。

さて、年頭にあたり令和6年の取り組みについていくつか述べさせていただきます。ご承知のように村教育委員会では、令和2年度から教育振興計画に「人生一〇〇年時代を生きる子ども教育」に「地域で育む」「夢を実現する」「生涯を生き生き」の3つの理念を掲げました。最終年を迎える今年には、お示しした施策の仕上げるの時期となります。

学校教育について
小中学校では、基礎的、本格的な知識・技能と思考力、判断力、学びに向かう態度

の育成、主体的に学ぶ力の育成を図ります。これは、日々の学校における授業に振り所を求めるものであり、授業を通して一人ひとりが自分の考えを持ち、聞き手に確実に伝えられる表現力

を図ります。学びの環境では、教室以外の場所でも学びが確保される環境の整備を進めます。これまで実施してきた土曜教室、放課後学習会の成果と課題を明らかにして、児童生徒の実態



鈴木一正 教育長

Kazumasa Suzuki

を身につけ、授業で話し合える環境作りが必要です。次に、学びの特性に応じ、個別に最適な学びと協働的な学びの実現を目指します。このために授業や家庭学習等でタブレットの有効活用

に応じた学びをサポートする体制を整えます。特別支援教育については、適切な支援体制を組織すべく、通級指導教室の継続的な設置運営、村特別支援連携協議会の運営を通して適切で効

果的な支援ができる環境整備を進めます。幼稚園・小学校・中学校の連携については、子どもたちの学びと生活がスムーズにつながるように学校間での連携を図っていきます。

生涯学習について

人生一〇〇年時代を見据えて多様なニーズに応えた学習の整備を進めます。例年開催される村文化祭の作品には、その一つひとつから創造性と活力を感じ取ることができました。村民の皆さまがそれぞれに求めるスポーツや学習に対するニーズを適切に把握し、実現に向けて取り組みます。

本村は、歴史と文化の豊かな地域です。多くの古墳や遺跡、伝承文化を永く保存し、現在に伝えてきました。この地域財産を子どもたちの学習に大いに活用し、郷土を愛し伝える環境を整備します。また、村内、他地域からの訪問された方にも分かるような案内や施設表示等の工夫を行い、情報発信に努めます。

地域連携について

地域の子どもは地域で育てるといふ基本理念を村民の皆さまと共有し、保護者と学校関係者、関係機関が協力して教育に携わり、地

域の多様な人々と協働して教育が進められるように「地域学校協働活動」を推進します。教育支援ボランティアの皆さま、見守り活動で協力いただいている各種団体の皆さまに引き続きご協力をいただき、今後、活動の輪を広げてまいります。「家庭教育」の推進と充実を図るために家庭教育学級や講演会等を通して他地区の事例や情報を共有できるようにします。

コロナ禍に伴い、「新しい生活様式」への移行やデジタル環境の進展、多様性を尊重する社会の推進など社会はめまぐるしく変化しています。この社会を生き抜くためには、一人ひとりが成長・変化を続け、しなやかに適応することが求められています。その基本となるのは、絶え間ない「学び」であることは間違いありません。将来を担う世代後進を育て見守る世代にとって豊かな時代を過ごすためにも一層のご理解とご協力をいただけますようお願いいたします。

明るく希望に満ち、実り多い一年となりますようご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。